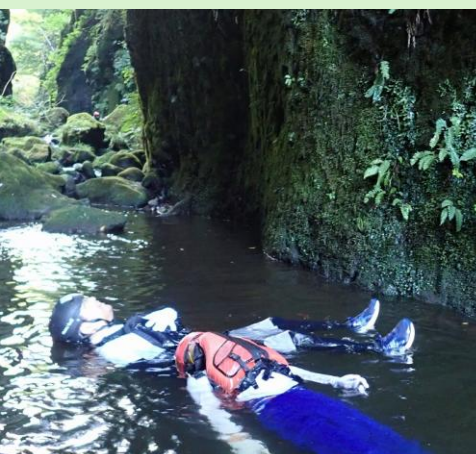


[2025 - 2026]

ANNUAL REPORT



柏崎・夢の森公園



Our Vision

人と自然が「おりあい」をつけながらすこやかに生きていける
そんな社会をつくっていきたい



— 2025年度の活動実績 —

柏崎市の設置目的に従い、個人向け・団体向け環境教育プログラム「環境学校」や、市民や企業と協働して行う里山保全活動など、個人・企業・行政・学校・市民団体などの様々なセクターと活動を展開しました。

来園者



77,300人

ボランティア



1,106人

環境学校(体験プログラム)



個人(イベント)

9,242人

個人(キャンプ)

261人

個人(人材育成)

942人

団体プログラム

4,344人

柏崎・夢の森公園の設置目的【作成：柏崎市】

自然との共生を考える場を提供していくことを基本コンセプトとし、市民との協働のもと、里山の復元やさらに新たな循環の仕組みを提案できるような公園づくりを目指すとともに、この公園を中核フィールドとして、自然体験、環境エネルギー教育、ライフスタイル教育といった3つの柱で運営していく「環境学校」を展開していく公園事業である。

topic 01

祝! 環境省「自然共生サイト」に認定されました



自然共生サイトは環境省が認定する制度で、地域の人たちの取り組みによって自然を守りながら活かしていく里地里山や緑地を認める制度です。これは「完成された自然」を示す称号ではなく、これからも人と自然が関わり続ける意思を、社会と未来に向けて宣言するものです。夢の森公園ではこの登録をきっかけに多様な世代、多様な分野の人たちとの連携を深め、柏崎地域全体の自然共生に向けこれまで以上に取り組みを強化していきます。

topic 02

屋内ペット同行避難訓練を柏崎市で初開催



近年のペット飼育者の増加を背景に、2021年から園内の広い原っぱ（ごろりん広場）を活かして、愛犬と飼い主と一緒に楽しめるスポーツ大会を開催しています。2025年7月、11月、3月の合計3回、避難所でのペットスペース設営・運営するための支援キット、スターターキットを用いた屋内でのペット同行避難訓練を実施しました。訓練は柏崎市や愛犬家団体と連携して行い、地域でのペット防災の取り組みを広げていく活動に力を入れています。

topic 03

カキツバタ観光事業「プレミアムツアー」を初開催



公園の3大イベントの1つに成長したカキツバタまつり。柏崎市の観光をさらに盛り上げるため、より多くの方に観光地として楽しんでいただくコンテンツとして「カキツバタプレミアムツアー」を初開催（2025年5月）。カキツバタの歴史と文化からひもとく魅力や自然ガイド、クラフト、地元和菓子店がつくるこだわりの和菓子「かきつ」付きのたツアーは大変好評をいただきました。

topic 04

楽しみながら「自分事」へ変える、新しい獣害対策



2025年9月、ぼうさい国体の併催イベント「いつものもしもCARAVAN 新潟」に出展しました。「ケモノ×防災×アウトドア」を掲げ、野生動物への対処を日常の備えとする「ケモノも防災」を提唱。ブースでは射的や毛皮・頭骨等のハンズオン展示を行い、楽しく獣害を身近なリスクとして啓発しました。野生動物への対策が急務となる社会情勢を受け、専門知見を地域防災力や「獣害に強いまちづくり」へ寄与させる当園の役割を広く提示する機会となりました。

1

\bousai/
防災

柏崎初! 屋内でペット同行避難訓練開催

2025年7月、11月、2026年3月

地域全体で取り組むペット防災活動

ペット連れの来園者が増えていることや、全国的に15歳未満の子どもの数をペット飼育者が上回ったことなどから、園内の広い原っぱで愛犬と飼い主と一緒に楽しめるスポーツ大会を開催してきました（2021年～）。2025年度は、新潟県獣医師会から柏崎市へ寄付されたスターターキット（避難所におけるペットスペースの設営・運営キット。2024年寄贈）を活用し、柏崎市で初となる屋内でのペット同行避難を実施しました。公園スタッフが持つアウトドア知識やコミュニケーション能力を活かし、柏崎市防災・原子力課、市内で活動する愛犬家団体と協力し試行錯誤しながらの実施となりました。今後も地域全体で取り組むペット防災活動に力を入れていく予定です。

参加者アンケート

- ① ペット同行避難方法について全く知識がなかったため、知れてよかった。
- ② ペットスペースを設置する時に人同士の連携が大切になると感じたので、コミュニケーションを飼い主同士で取り合うようにしていけると良いと思った。



DATA

- ・初開催にして満員御礼、市外からの参加もあった。
- ・アンケート：スタッフが丁寧に説明してくれて分かりやすかった：80%

事業
報告

2

\hukushi/
福祉連携

福祉と地域をつなぐ、夢の森から広がる新しい商品販売の形

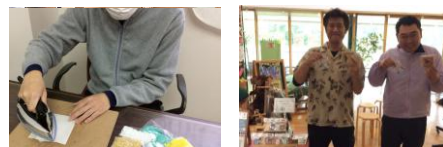
2025年4月～

価値に気づき、誇りに変わる
選ばれることで生まれる循環

エコハウス内のショップでは、令和6年度より市内および県内の社会福祉施設やNPO法人と連携し、クッキーやアクセサリーなどの商品の販売を試行しています。価格設定や売り方のアドバイスも行いながら、販路づくりを支援してきました。その中で、作り手からは「自分たちで値段を下げ、価値も下げていたことに気づいた」という声も聞かれました。店頭に並ぶ自分たちの商品を写真に収めに来る施設の方の姿からは、売れる喜びと誇りが感じられます。夢の森公園での販売をきっかけに、取り扱い店舗が増えるなど成果も生まれています。来園者層に合わせた商品開発により売上と意欲が高まり、商品も充実。地域の中で支え合う好循環が生まれています。

参加者アンケート

- ① 福祉施設でつくるものは安くしないと買ってもらえないと思い込んでいた。これまでの3倍の値段で売れることがわかり、作り手のやる気にもつながった。
- ② 商品が売れることがわかりパッケージ制作にこれまで以上に前向きに取り組む姿が見られ、職員も喜んでいる。



DATA

- クッキーの販売
- ・夢の森公園での販売実績（2024年度：145個→2025年度：155個）
- ・2年前に夢の森公園で販売を始めたことで、他の店舗からも注文が入るようになった

3

kyousei /
自然共生森づくり活動～開園前から続く市民協働ボランティア
2025年4月～11月

地域の自然と関わる「はじめての一步」

公園の環境整備ボランティア活動で、市民活動団体「里山環境づくりネットワーク」が主幹し、老若男女問わず市民の方が中心となって活躍しています。

2025年は、カキツバタ、西の丘、西の池、東の丘を4大エリアとして年間10回活動を行いました。西の丘エリアでは落ち葉かきや下草刈りを開園前から繰り返し行い、里山のモデルケースを維持しています。その成果から、今年の夏にはキキョウの生息拡大が見られました（自然共生サイトとしても認定）。また保全活動のほかに、シイタケのコマうち、ザリガニ釣り大会（外来種駆除）、ピザ焼きなどお楽しみイベントも実施し、地域の自然と関わるはじめての一步を踏み出すきっかけとして、親子連れなど次世代の参加も増加しています。より多くの市民の方に関心を持っていただけるよう、活動を継続していきます。

参加団体・企業

- 東芝、東北電力、東京電力HD、植木組、INPEX など
教員ボランティアなどの団体からも参加がある



DATA

- ・実施回数：10回
- ・延べ参加者：405人

事業
報告

4

kyousei /
自然共生環境省「自然共生サイト」に認定されました
2026年3月

20年以上、市民とともに創り続けた里山

自然共生サイトは、民間の森や里地里山、企業の敷地など、保護地域以外で生物多様性の保全に貢献している場所を認定する制度で、今回の認定と同時に、国際的には、OECM（Other Effective areabased Conservation Measures）として登録されました。夢の森公園では、2007年の開園以来、里山の自然環境を守りながら、人と自然が共に生きる地域づくりを目指し、さまざまな活動を行ってきました。地域住民や企業との連携による里山の保全管理、環境教育、自然体験活動などが継続的に行われている点が評価され、今回の認定につながりました。夢の森公園では今回の認定を契機に、地域の企業・団体・市民とさらに連携を深めながら、自然共生社会の実現に向けた取り組みをさらに進めていきます。

関係者の声

- 開園前から20年以上関わってきた里山保全の取り組み、結果が認められたことがとてもうれしい。
- 今回認定された場所以外にも保全している場所があるので、追加認定に向けて取り組んでいきたい。

多様な環境がモザイク状に広がる4つのゾーン



DATA

- ・自然共生サイト認定区域の面積：3.5ha
- ・アドバイザー：中静 透氏（東北大学名誉教授）
- ・協力：柏崎・夢の森公園市民活動運営会議

5

kankou /
観光

宿泊施設と連携した海での宿泊付き体験ツアー

海の冒険学校 2025年8月17日～19日（小中学生向け）

柏崎の海での着地型観光商品の開発

「海で3日間遊んで過ごす」楽しそうだし、やらせてあげたいけれど、親だけではなかなか難しい…そんなニーズと地域の観光貢献を掛け合わせた体験ツアーが「海の冒険学校」です。「子どもたちが時間を気にせず満足するまで体験させてあげたい。きれいな新潟・柏崎の海の原体験を提供したい」という私たちの思いと、これまで積み重ねてきた安全管理や野外活動のノウハウがあるからこそ実現したこのツアーは、毎年市内外から小中学生が集まり、定員を超える人気ツアーとなっています。また、9月には親子向けの宿泊ツアーを実施。「自然体験はしたいけどテント泊はハードルが高い」と感じる親子層をキャッチして、「親子の思い出になった」と喜ばれると同時に、柏崎の海の観光に貢献する取り組みとなっています。

参加者アンケート

- スタッフのみなさま、一緒にいい時間を過ごしていただきありがとうございました。親がいない開放感と、でも近くに大人がいてくれる安心感。そんな中で同年代の子どもたちとたくさんのチャレンジをして寝食を共にする。とても貴重な経験ができたと感じております。



DATA

- 海の冒険学校 17名
- 親子で海と川の大冒険 5組10人

事業
報告

6

kankyau /
環境学校

新潟初開催! 摘み草実践コース初級編 in NIIGATA

2025年6月14日

野草を通じて自然と暮らしの繋がりを学ぶ

大人向け講座の特別編として講師を招いた摘み草講座。午前中は園内で収穫した野草を1つひとつ触って観察し、パスタとサラダを調理しました。調理した野草は食べやすく、美味しさに参加者が驚く様子も。講座後に「帰ってからパスタをつくりました」と参加者から報告いただきました。後半は毒草と間違えないように、野菜など身近な植物を通じた分類のコツや観察本の紹介をしていただきました。他にも講師から日本の伝統行事や歴史など多角的な視点から野草の魅力についてお話があり、ただ野草を食べるだけでなく、季節の移り変わりや自然と暮らしの繋がりにも目を向けた講座となりました。

参加者アンケート

- 今までにない視点で野草について考えるきっかけになりました。よくぞ新潟まで先生を呼んでくださいました。
- 野草の知識はもちろんですが、次の世につなげることの大切さを心に刻みこんでいただきました。
- 野草を採取するまでの注意点や、日頃から考えておくべきことなど新しい視点を手に入れたことが良かった。



DATA

- 講師：鶴岡舞子先生（摘み草のお店つちころび代表）山梨県を中心に幅広く活躍。保育園の野草給食、出張講座を開催。NHKにも出演実績がある。
- 園内で収穫した33種類の野草を説明。
- 参加者は魚沼市など市外からも利用があった。

7

＼kankyou/
環境学校

製材会社とコラボした大人向け本格DIYクラフトの開発

2026年1月24日、3月21日

柏崎産の杉×富士山の鹿革×手作りタイル

柏崎で70年近く続く太田材木店と「地元の杉材を使ったクラフトを開発できないか？」という相談を始めてから1年。富士山麓の鹿革と柏崎杉を組み合わせた北欧風キッチンツールづくり、NPO法人TILE PEACEが特別支援学校の生徒さんと作るかわいいタイルと柏崎杉を組み合わせたなべ敷きづくりの2つのプログラムを開発・実施しました。普段は入ることができない製材現場の見学や、柏崎杉の特徴のお話、製材から家づくり、そしてその先の森づくりまで続く熱いお話、杉の色合いや感触を確かめながら進める作業の時間を楽しみました。私たち一人一人が選ぶものが、地域の、ふるさとの自然・風景をつくっていくことにつながるという太田社長のお話が印象的でした。

参加者アンケート

- ③ つくる過程も楽しかったし、とても素敵な椅子ができた。めちゃかわいい。工具に慣れるまでが大変だったが、電動工具を初めて使えてよかった
- ③ 地元の材木、SDGsに貢献できるというコンセプトや、家で実際におしゃれに使えるものを自分で作れるというのがとてもよかった



DATA

- ・定員を上回る14名の申し込みあり
- ・アンケート：参加者の100%が「大いに満足した」と回答

事業報告

8

＼kankou/
観光

カキツバタ観光事業 プレミアムツアー

2025年5月23日

花の観光ツアーへの挑戦

開園前から公園の魅力づくりの1つとして市民ボランティアの力で手入れをしてきたカキツバタ苑で、2010年から「カキツバタまつり」は始まり、現在は年間来園者数の4分の1がこの時期に訪れている、公園の3大イベントの1つに成長しました。2025年。柏崎の春の観光をさらに盛り上げるために、またより多くの方に観光地として柏崎を楽しんでいただくためのコンテンツとして提供を始めたのが、カキツバタプレミアムツアーです。カキツバタの歴史と文化から見た魅力のトークとクラフト、自然ガイド付きの散策ツアー、地元和菓子店のこだわりの和菓子「かきつ」のついたツアーは大変ご好評いただきました。



参加者コメント

- ③ 私が種をまいたカキツバタが大きくなるのがたのしみ！また来年もくるわ
- ③ 説明が大変よく、今までただカキツバタを見に来ていたが今回参加してよかった。

DATA

- ・参加者：25名

9

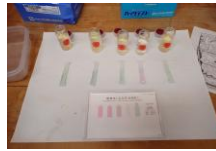
\kyousei /
自然共生

土中環境を意識した「大地の再生」活動

2025年4～11月

空気と水の浸透循環を回復し、環境を整える

2024年から始まった土中環境を意識した大地の再生活動。映画「杜人」や「有機土木」の概念で注目を集めている土中環境を意識した環境再生の取り組みは全国各地で行われています。ただその実践はその土地に合わせたやり方を、その土地の人たちでつくりあげていく必要があります。2023年に公園で開催した「土中環境ワークショップ」と、2024年にスタッフが参加した矢野智徳さん（映画「杜人」主演、環境再生医）が行った大地の再生講座をベースに、2025年も試行錯誤しながら活動を実施しました。保全作業以外に、水温の調査とパックテストによるCOD調査、生き物調査等を行っています。まだ確たる変化が確認できたわけではありませんが、5年ほどの期間を想定して再生活動と調査を行っています。



参加者アンケート

- 決められた作業をだけでなく、自分たちで現場を見ながらやることを考え、実践し、またその結果を確かめながら活動することが楽しい

DATA

- ・実施回数：8回
- ・延べ参加者：27名

事業
報告

10

\jyuugai /
獣害対策

考える。いきものとわたしのつながり「秋のケモノまつり」

2025年10月11～13日

里山公園で学ぶ「共生のカタチ」

形を変えながら2025年で5回目となる「ケモノまつり」。最終日のメイン企画のトークライブでは、クマ遭遇からの生還者としてTV等にも出演した永谷寺のマッチョ住職を招き、実体験に基づく「正しく畏れる」大切さを発信。獣害を自分事として捉える機会となりました。また柏崎市有害鳥獣被害対策協議会の協力によるイノシシピザや鹿肉ウインナーの提供、野生鳥獣のハンズオン展示やクラフト、ケモノ射的等を実施。単なる恐怖だけではなく、人と野生動物がどう折り合いをつけるかという古くて新しい社会の課題を多角的に学ぶ場となりました。山と街との境界（バッファゾーン）に位置する夢の森公園ならではの普及啓発として、地域共生の土台づくりに寄与しました。



参加者アンケート

- 住職の体験談から本当の恐怖が伝わり、クマへの意識が『自分事』に変わりました。
- クマ対策体験会では専門家の解説が具体的に学び直す大切さを実感。
- イノシシピザが美味しく子供も射的を楽しみました。今後もこのような楽しいイベントを期待しています。

DATA

- ・来場者数：2,489名
- ・協力：柏崎市有害鳥獣被害対策協議会、永谷寺、地域の猟師、NPO法人新潟ワイルドライフリサーチ

11

\kankyō/
環境学校

夜の公園で、非日常のステキな空間を楽しむ大人の時間

2026年9月27日

星と音楽とわたしとカクテル

星をテーマにした夢の森公園ならではの大人向けの体験活動の開発に挑戦した本イベントは、結果的に非日常のステキな空間で音楽とお食事、星空を楽しむ大変満足度の高いイベントになりました。通常夜は営業していないエコハウス内のカフェ「I'm home」からイベント限定のお食事を提供してもらい、自家製シロップのカクテル（ノンアルもあり）もおかわりする人が続出。天気にもめぐまれ、天体望遠鏡で月を見たり、アルビレオという二重星も見れました。ピアノ、サクソ、声楽と多彩な音色に囲まれた、日常から離れたゆったりとぜいたくな時間。忙しい毎日を過ごす大人のため時間となりました。2026年は回数を2回に増やして実施する予定です。

参加者アンケート

- ☺ 絶好の天気。音楽。星。雰囲気、人、お料理、カクテル…。すべてがステキすぎです。
- ☺ ピアノを聴きながらゆったりした時間を過ごせて良かったです。星のお話、鑑賞（星空の）唄、音楽、お酒。盛りだくさんでとても楽しい時間でした。またしてほしい。



DATA

- ・講師：山田智氏（星空愛好家）
- ・参加者：26名
- ・アンケートで、参加者の91%が「大いに満足した」「満足した」と回答

事業報告

12

\ijyu-kyouiku/
移住・教育

ゆめの森のようちえん ～ 大人も夢中になれる時間

夏・秋・冬シーズン ※1シーズン：3か月（6回）

専門スタッフがいるから安心できる

今年で19年目を迎えた幼児向けの自然体験講座「ゆめの森のようちえん」は、子どもの成長を見守るだけでなく、保護者同士がつながる場として2010年から続いています。転勤の多い地域ならではの孤立しがちな子育ての不安を和らげ、仲間づくりの場になっています。親子で自然の不思議を楽しむ中で「子育てはこれで大丈夫」と前向きな気持ちへと変化する方の顔が印象的です。子どもに自然体験をさせたいけれど、どうしたらいいかわからない、自然遊びに慣れていない親世代が増える中で「専門スタッフがいるから安心できる、知識が学べる」といった口コミも多く、リピーター参加も多い講座になっています。

参加者コメント

- ☺ 初めは怖がっていた森歩きも、手を取らずに歩けるようになったり、お友達と関わったりと成長を感じられた
- ☺ 生き物に詳しいスタッフが一緒に歩いてくれるため安心。下の子のお世話中など、目が離れる時に見てもらえる。



DATA

- ・2025年度の参加者：41組 105人
- ・2010年からの延べ参加者：572組 1323人

13

kankyou/
環境学校

新潟初! Vivobarefootとのコラボで挑む「インナーサステナビリティ」

2025年6月7日

里山で五感を研ぎ覚ます大人の体験会

新潟県内初開催となる「ビボベアフット体験会」を、Vivobarefoot JAPANのコンテンツVIVOHEALTHとのコラボレーションにより実施しました。足裏から大地の刺激をダイレクトに受けるベアフットシューズを履き、里山の多様な起伏を歩くことで、現代人が失いつつある身体本来の機能を呼び覚まします。「インナーサステナビリティ（心身の内側の持続可能性）」に基づき、自己の健康と自然環境への意識を地続きに捉える新たな価値観を提案しました。里山をウェルビーイングに寄与する「健康増進基地」として活用するこの試みは、参加者から高い支持を得ました。自然と一体となる体験が、心豊かな暮らしの土台となります。



参加者アンケート

- ☺ 東京と京都にお店はあるものの、様々な足の悩みもあるため新潟で開催していただけるなんてとても嬉しかったです。
- ☺ シンプルに歩いて、こんなに楽しいんだと思える、そんな時間でした。今後も継続して参加したいと感じる素晴らしい体験でした。

DATA

- ・参加者：11名（満員御礼）
- ・主な対象：30代～60代の健康意識の高い大人層

事業
報告

14

kyodou/
市民協働

公園づくりに関わる人が一同に会する「里山の感謝祭」

2025年11月29日

お互いの活動をねぎらい、意欲を高める場

夢の森公園では様々な市民ボランティア活動が行われていますが、それぞれの活動に忙しくなかなか他団体の活動を知る機会がないことも事実です。どのような人や団体が、どのような形で公園づくりに関わっているのかを知る機会として、またお互いの活動をねぎらい合い、次の活動への意欲を高める機会として「里山の感謝祭」を行いました。2025年の活動報告動画や各団体担当者からの活動報告、毎回大盛況のドリームビンゴ大会、夢の森公園でとれた新米コシヒカリ、公園産みそのきのこ汁、獣害対策で提供しているイノシシ肉のふるまいなど、楽しい時間を過ごすことができました。里山の調査や保全活動、体験学習などの公園づくり活動が、地域を愛する人の集まりで成り立っていることを感じる事ができた時間となりました。



参加者アンケート

- ☺ いろいろな人が関わっていることがわかりよかった。長すぎない時間がちょうどよく、気持ちよく楽しむことができました。

DATA

- ・参加者：41名
- ボランティア：31名
- 講師・招待者：10名

plan 01

自然共生サイト登録記念シンポジウムを開催(6/20)



自然共生サイト登録を機に、夢の森のこれまでの活動や、柏崎の里山の自然、そしてこれからの「自然とともに生きる地域」について、みんなで気軽に考えるシンポジウムを開催します。東北大学名誉教授と高校生のトークセッションのほか、幼稚園・保育園の子どもたちの絵の展示「ゆめの森のいきもの」や、柏崎少年少女合唱団（自然共生のオリジナルソング）の合唱も予定しています。森や生きもの、そして私たちの暮らしとのつながりを身近なテーマから楽しく考えます。

plan 02

観光農園「越後バナナ」と連携した秋海ツアー



柏崎市産の高付加価値ブランド「越後バナナ」を活用した着地型観光プラン「秋の親子旅 穏やかな秋海1泊ツアー」を初開催します（9月）。海のイベントで長年実績のある私たちにしか提供できない安全でアクティブな海でのアクティビティを核に、宿泊型にすることで市内宿泊施設とも連携。観光バナナ園見学を組み込みむことで体験・食・滞在を一体化し、柏崎の魅力向上と観光振興に貢献していきます。

plan 03

ペット防災BOOKを作成



災害に備えてペットと飼い主の必要な情報（防災備品チェックシート、ペットのプロフィール、飼い主情報など）をひとつにまとめたハンドブック「ペット防災BOOK」の作成を予定しています。有事の際にすぐ持ち出し、活用できる内容にすることで、日頃からの備えにつなげていきます。また、ホームページにてペット防災の特設ページを開設し、飼い主だけでなく幅広い来園者へ向けた啓発も行っていきます。

plan 04

地域団体と連携した新しい団体プログラムが登場



行政・事業者が協働して地域の森づくりに取り組む「つなぐプロジェクト」に取り組む太田材木店、特別支援学校の生徒と手づくりタイルをつくるNPO法人Tile peaceと連携し、地域資源を活かしたプログラムを開発しました。火をともしとパチパチ音が出る木芯のジェルキャンドルづくり（1,000円）、柏崎産のスギと手作りのタイルでつくるなべ敷き／コースターづくり（1,500円／1,000円）、夢の森公園産の米粉でつくるカップケーキづくり（700円）、ぜひつくりにきてくださいね。

ごあいさつ

柏崎・夢の森公園は、2007年の開園から18年の歳月を地域と共に歩んできました。これまで歩みを支えてくださった市民・団体・企業の皆様に、厚く御礼申し上げます。私たちの活動は2026年3月、環境省「自然共生サイト」認定という形で、国内的にも、国際的にもその価値が認められるひとつの転換点を迎えました（OECDとして国際的に登録済）。

開園から20年近くが経過し、社会情勢は大きく変化しています。私たちは今、単なる公園管理の枠を超え、「地域課題を解決する拠点」としての役割を再定義すべき段階にあります。そのため、2025度より従来の行政向け報告書に加え、市民の皆様へ活動をお伝える「アニュアルレポート」を発行することといたしました。自然との共生が、教育、福祉、防災、そして観光といった多角的な視点から柏崎の価値をどう高めていくのか、その具体的な成果と今後の展望をまとめました。レポートをお読みいただいた皆様と共に、次なる10年、20年を見据えた「新たな協働のカタチ」を創り出していただけることを、スタッフ一同、心より願っております。

柏崎・夢の森公園 管理事務所

【指定管理者】※

アール・ケー・イー / ホールアースグループ



所長
遠藤 亮

【所属】

NPO法人
ホールアース自然学校



副所長
根立 吉宏

【所属】

株式会社
アール・ケー・イー

- インタープリター:7名
- 保全作業員:3名

※アール・ケー・イー / ホールアースグループ
2015年4月より柏崎・夢の森公園の指定管理者（現在指定管理3期目）。施設管理や里山保全などのハード面を担当する株式会社アール・ケー・イーと、体験活動や市民協働などのソフト面を担当するNPO法人ホールアース自然学校による共同事業体です。

柏崎・夢の森公園 管理運営方針(指定管理者作成)

自然への貢献：持続可能な里山を目指して



カーボンニュートラルなエネルギー循環の実現
園内の間伐材を本質ペレットに変換し、施設のエネルギーとして活用します。



里山の復元と生物多様性の維持
継続的な自然資源調査に基づき、希少種も保護しながら適切な里山保全を行います。



伐り出した木々の完全活用
ペレットや薪だけでなく、クラフト材料やきのこの栽培にも利用し、資源を無駄にしません。



人とまちへの貢献：地域の未来を育む拠点へ



体験から学ぶ「環境学校」の推進
全国でも減少しない体験型都市公園として、SDGsの視点を取り入れた学びの場を提供します。



パートナーシップによる地域課題解決
獣害対策や観光振興など、多様な市民・団体と連携して地域の課題に取り組みます。



市民の声を反映した公園づくり
利用者のニーズを丁寧に聞き、初心者向けキャンプの増設などを実現してきました。

柏崎・夢の森公園

〒945-1355 新潟県柏崎市軽井川4544-1
TEL/0257-23-5214FAX/0257-23-5113
E-mail /info@yumenomori-park.jp



website

< 指定管理者 >

アール・ケー・イー ホールアースグループ

特定非営利活動法人
ホールアース自然学校



website

株式会社
アール・ケー・イー



website